



6月定例会 県議

新型コロナウイルス感染症対策等に 648億8千万円余りを増額補正



可決、同意しました。特に、予算案のうち、早期に議決が必要な部分については、18日に審議が行われ、会派を代表して荒井代表代行が質疑を行いました。

補正予算のポイント

- 新型コロナウイルス感染症への対応
 - 医療・福祉提供体制等の更なる強化 120億1021万3千円
 - 医療・福祉従事者等への感謝・支援 107億8187万3千円
 - 県内経済の再生・暮らしへの支援 341億7571万5千円

新型コロナウイルス感染症対策で 知事に2回目の提言

「改革創造みらい」は5月27日、阿部知事に對し4月16日に続く2回目の提言を「新型コロナウイルス感染症対策に関する提言(第2回)」と題し行いました。全国に発令された「緊急事態宣言」下、県民・国民が様々な自粛要請に応えた結果新規感染者数が減少、5月14日長野県を含む39

県の「宣言」が解除されましたが、更なる感染拡大を防止するため「新しい生活様式」の定着や生活の基盤を守っていくことなどの観点を踏まえ、経済・雇用関係、生活支援、感染症対策関係、生活支援関係、子育て、教育関係など27項目に取りまとめ要望したものです。小島代表が要望書を知事に手交のち全員が発



言し、切実な県民の声を代弁する形で県の取り組むべき対策の一層の強化を知事に訴えました。

令和2年 4月臨時議会

- 新しい生活様式への移行支援 14億9615万2千円
- 児童生徒等の学びの保障 27億6324万4千円
- 【令和元年東日本台風災害からの復旧・復興】 12億1485万7千円

新型コロナウイルス感染症対策を早期に実施する必要があったことから、4月28日に4月臨時県議会が開催されました。国の緊急経済対策を最大限活用し、検査・医療提供体制の強化や県内経済と県民生活の支え、遠隔教育環境の整備に重点を置いて編成された、一般会計278億8683万6千円(債務負担行為14億5000万円)、国民健康保険特別会計3913万8千円の補正予算案を可決しました。

議会改革の提言を行う

- 1 地方分権改革により自治機能の強化が進む中、議会の果たすべき役割はますます重みを増していきます。また、新型コロナウイルス感染症対策で顕在化したように、知事権限の強化も図られてきており、それと対峙するべき議会の存在意義も高めていく必要があります。
- 2 また、議会基本条例にはたゆみない議会改革推進の決意が示されており、県民に開かれた県議会を目指すためにも、議会改革をさらに進めるための7項目にわたる「議会運営に関する提言」を、6月29日、正副議長に提出しました。提言の内容は以下のとおりです。
- 1 議会会期の通年化
- 2 正副議長の任期を2年間に
- 3 質問時間のさらなる確保を
- 4 議会改革調査会の設置
- 5 全議員が関わっての決算審査
- 6 少子化対策等重要課題を議論する特別委員会の設置
- 7 選挙区等の見直しのため



社会を支える方々に感謝します

新型コロナウイルス感染症が未だ終息の見通しが立たない中、発生以来医療をはじめとして、介護、保育、物流、インフラ運営、生活必需サービス等々、様々な分野において数多くの方々が、感染リスクにさらされながらも、県民や国民の生命や暮らしを守る業務に従事していただいています。会派として改めて皆様にご尽力をお願いするとともに、少しでも皆様の負担が軽減されることや不利益が生じることがないように、私たちも全力を尽くして参ります。

9月定例会日程(予定)

- ▽9月24日 開会
- ▽29日～10月2日 一般質問
- ▽5日～8日 委員会審議
- ▽9日 閉会